

AIを活用し業務効率化

～学習しながら手書き文字を文字認識しデータ化する AI-OCR を試行導入～

【経緯】

宇城市では、人工知能(AI)を搭載した光学式文字読み取り装置(OCR)の試行導入を令和2年1月から始めています。これはICTを使った働き方改革の一環で、業務効率化と職員の生産性向上に向けた取り組みの一環です。

鹿児島県鹿屋市などで導入実績があるNTTフィールドテクノからの提案で、2カ月間無料でトライアルを実施。検証結果を見て本格導入に向けて検討を行います。

【目的・ねらい】

本市では、定型的な作業をできるだけ削減し、政策的な業務に集中できるよう昨年度からRPAを導入するなど業務改善に取り組んでいます。

人が行っている単純な入力業務にAI-OCRを導入することで、業務の効率化が図られ業務時間の短縮が期待できます。

未だ紙での提出が多いため申請書などもAI-OCRを使いデータ転記作業を自動化することで、電子化したデータをRPAに取り込むことができ、コストの削減、繁忙期の解消につながります。

1 試行期間 令和2年1月から令和2年3月6日(金)

2 導入業務	生活保護調剤券システム業務	社会福祉課生活保護係
	下水道検針票の台帳管理業務	上下水道課下水道庶務係
	高齢者在宅介護用品助成業務	高齢介護課高齢者支援係
	妊婦健康診査事業	健康づくり推進課地域保健第1係

3 導入ソフト 「NaNATsu AI-OCR with DX suite」

問い合わせ

宇城市総務部市長政策室 天川室長、田川係長 (担当:行政経営係)
〒869-0592 熊本県宇城市松橋町大野 85
TEL:0964-32-1803 (直通)0964-32-1111(代表) FAX:0964-32-0110